

# 議会改革特別委員会 活動報告

## 委員会発議

発議第1号

つがる市議会会議規則の一部を改正する規則案



委員長  
伊藤 良二

女性をはじめ、多様な人材の市議会への参画を促進する環境整備の一環として、本会議および委員会の欠席事由に**育児、介護、配偶者の出産補助等**を具体的に例示して明文化し、出産に伴う欠席期間の範囲を産前・産後にも配慮した規定に整備しました。

また、行政手続きにおける押印の見直しを推進する政府の方針を踏まえ、これまで義務付けていた請願人の押印を**署名または記名押印**に改めました。

**この規則改正案は全会一致で可決されました。**



## 行政視察報告

先進自治体の事例を学ぶため、特別委員会が視察を行いました。その概要をお知らせいたします。

令和3年6月25日、中泊町議会を訪問し、議会におけるペーパーレス化を推進するタブレット端末の導入について視察した。

全国的には、平成25年に神奈川県逗子市議会が初めて導入し、コピー用紙や印刷コストの削減のほか、検索性に優れ、資料へのアクセスが早くなるため、会議の迅速化が図られるなどの効果がある。近隣では五所川原市も導入している。

この日は、実際にタブレットを操作しながら、中泊町の担当者から説明を受け、会議システムの機能や導入した時の議員への対応などを質問した。担当者は「議員たちは不安だったと思うが、タブレット導入と同時に紙媒体での議案配布はせず、とにかく触ってもらい慣れてもらった」など回答があった。

委員会では導入のメリット、デメリットを整理し、今後の導入に向けた議論を重ねていく予定である。



担当者の説明を受ける委員



操作を体験する委員